

レベル1 れいを見て、うすい字を なぞろう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の 見本です。よく見てね。

2.53 を 10倍・100倍すると、それぞれいくつになるでしょうか。式に書いて求めましょう。

① 10倍・100倍の式に書く

$$2.53 \times 10 = 25.3, \quad 2.53 \times 100 = 253$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、10倍すると位が1つ上がるので、小数点は右へ1つ動きます。つぎに、100倍すると位が2つ上がるので、右へ2つ動きます。だから、10倍は25.3、100倍は253です。

③ たしかめる（10分の1でもどす）

$25.3 \div 10 = 2.53$ 、 $253 \div 100 = 2.53$ 。もとの 2.53 にもどった。

答え（10倍は 25.3、100倍は 253。）

もんだい

3.06 を 10倍・100倍すると、それぞれいくつになるでしょうか。

10倍・100倍の式に書いて求め、位の動き（小数点の移り方）を言葉で説明しましょう。

① 10倍・100倍の式に書く

$$3.06 \times 10 = 30.6, \quad 3.06 \times 100 = 306$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、10倍すると位が1つ上がるので、小数点は右へ1つ動きます。つぎに、100倍すると位が2つ上がるので、右へ2つ動きます。だから、10倍は30.6、100倍は306です。

③ たしかめる（10分の1でもどす）

$30.6 \div 10 = 3.06$ 、 $306 \div 100 = 3.06$ 。もとの 3.06 にもどった。

答え（10倍は 30.6、100倍は 306。）

レベル2 れいを見て、ヒントを使って説明しよう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の見本です。よく見てね。

2.53 を 10倍・100倍すると、それぞれいくつになるでしょうか。式に書いて求めましょう。

① 10倍・100倍の式に書く

$$2.53 \times 10 = 25.3, \quad 2.53 \times 100 = 253$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、10倍すると位が1つ上がるので、小数点は右へ1つ動きます。つぎに、100倍すると位が2つ上がるので、右へ2つ動きます。だから、10倍は25.3、100倍は253です。

③ たしかめる（10分の1でもどす）

$25.3 \div 10 = 2.53$ 、 $253 \div 100 = 2.53$ 。もとの2.53にもどった。

答え（10倍は 25.3、100倍は 253。）

もんだい

3.06 を 10倍・100倍すると、それぞれいくつになるでしょうか。

10倍・100倍の式に書いて求め、位の動き（小数点の移り方）を言葉で説明しましょう。

① 10倍・100倍の式に書く

$$3.06 \times 10 = \square, \quad 3.06 \times 100 = \square$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

「まず、」「つぎに、」「だから、」をつかって、文しょうで書こう。

③ たしかめる（10分の1でもどす）

10倍・100倍した数を10分の1・100分の1にして、もとにもどるか見なおす。

答え（ ）

レベル3 れいを見て、式と言葉で説明しよう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の見本です。よく見てね。

2.53 を 10倍・100倍すると、それぞれいくつになるでしょうか。式に書いて求めましょう。

① 10倍・100倍の式に書く

$$2.53 \times 10 = 25.3, \quad 2.53 \times 100 = 253$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、10倍すると位が1つ上がるので、小数点は右へ1つ動きます。つぎに、100倍すると位が2つ上がるので、右へ2つ動きます。だから、10倍は25.3、100倍は253です。

③ たしかめる（10分の1でもどす）

$25.3 \div 10 = 2.53$ 、 $253 \div 100 = 2.53$ 。もとの 2.53 にもどった。

答え（10倍は 25.3、100倍は 253。）

もんだい

3.06 を 10倍・100倍すると、それぞれいくつになるでしょうか。

10倍・100倍の式に書いて求め、位の動き（小数点の移り方）を言葉で説明しましょう。

① 10倍・100倍の式に書く

② 言葉で説明する（文しょうで）

「まず、」「つぎに、」「だから、」をつかって、文しょうで書こう。

③ たしかめる（10分の1でもどす）

10倍・100倍した数を10分の1・100分の1にして、もとにもどるか見なおす。

答え（ ）

レベル4 れいを見て、自分の力で説明しよう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の見本です。よく見てね。

2.53 を 10倍・100倍すると、それぞれいくつになるでしょうか。式に書いて求めましょう。

① 10倍・100倍の式に書く

$$2.53 \times 10 = 25.3, \quad 2.53 \times 100 = 253$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、10倍すると位が1つ上がるので、小数点は右へ1つ動きます。つぎに、100倍すると位が2つ上がるので、右へ2つ動きます。だから、10倍は25.3、100倍は253です。

③ たしかめる（10分の1でもどす）

$25.3 \div 10 = 2.53$ 、 $253 \div 100 = 2.53$ 。もとの 2.53 にもどった。

答え（10倍は 25.3、100倍は 253。）

もんだい

3.06 を 10倍・100倍すると、それぞれいくつになるでしょうか。

10倍・100倍の式に書いて求め、位の動き（小数点の移り方）を言葉で説明しましょう。

① 10倍・100倍の式に書く

② 言葉で説明する（文しょうで）

③ たしかめる（10分の1でもどす）

10倍・100倍した数を10分の1・100分の1にして、もとにもどるか見なおす。

答え（ ）

解答 解答・指導のポイント

もんだいの答え

3.06 を 10 倍・100 倍すると、それぞれいくつになるでしょうか。

① 10 倍・100 倍の式に書く

$$3.06 \times 10 = 30.6, \quad 3.06 \times 100 = 306$$

② 言葉で説明する (文しょうで)

まず、10 倍すると位が1つ上がるので、小数点は右へ1つ動きます。つぎに、100 倍すると位が2つ上がるので、右へ2つ動きます。だから、10 倍は30.6、100 倍は306です。

③ たしかめる (10 分の1でもどす)

$30.6 \div 10 = 3.06$ 、 $306 \div 100 = 3.06$ 。もとの 3.06 にもどった。

答え (10 倍は 30.6、100 倍は 306。)

指導のポイント

ねらい：小数を10倍・100倍したときの位の動き（小数点の移り方）を、式と言葉で説明する

評価規準：思考・判断・表現：小数を10倍・100倍・10分の1したときに各位がどう動くかに着目して、小数点の移り方を式や言葉を用いて説明することができる。

学習指導要領：小学校学習指導要領（算数）第5学年 A 数と計算 (2) 整数・小数の記数法 — 10倍・100倍・10分の1にしたときの数の位の移り方を理解すること。

レベルの使い方：到達目標は全レベル共通。子どもが自分に合うレベルを選ぶ。どのレベルも左の「れい」と同じ書き方で右の「もんだい」をとく。レベル1＝なぞる／2＝ヒント多め／3＝ヒント少なめ／4＝自分の力で。